

2 0 2 3 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 山百合会

1 保育所の概要

(1) 施設概要

- 本部 〒226-0011 横浜市緑区中山一丁目 21 番 5 号
T E L 045-929-1165 F A X 045-931-8255
- 小山保育園 〒226-0023 横浜市緑区小山町 292
T E L 045-933-2227 F A X 045-933-2353
- やまゆり中山保育園 〒226-0011 横浜市緑区中山一丁目 22 番 22 号 ITM 1 F
T E L 045-934-3897 F A X 045-532-6604
- やまゆり中山保育園分園 〒226-0011 横浜市緑区中山一丁目 21 番 5 号
T E L 045-932-4133 F A X 045-932-4133
- ペガサスベビー保育園 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-18 パルク新横浜 101
T E L 045-475-1376 F A X 045-475-1365
- ペガサス新横浜保育園 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-24-14
T E L 045-476-0768 F A X 045-476-0764
- ペガサス夜間保育園 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-24-14
T E L 045-476-0769 F A X 045-476-0764
- 幼保連携型認定こども園岸根こども園 〒222-0034 横浜市港北区岸根町 685-12
T E L 045-491-1555 F A X 045-491-1567
- 幼保連携型認定こども園若葉台こども園 〒241-0801 横浜市旭区若葉台 2-20-1
T E L 045-921-3161 F A X 045-921-4329

(2) 開所時間

施設名	平日	土曜日
小山保育園	7:00~20:00	7:00~18:30
やまゆり中山保育園(分園)	7:00~21:00	7:00~18:30
ペガサスベビー保育園	7:00~20:00	7:00~20:00
ペガサス新横浜保育園	7:00~21:00	7:00~21:00
ペガサス夜間保育園	8:30~24:00	8:30~22:00
幼保連携型認定こども園岸根こども園	7:00~21:00	7:00~21:00
幼保連携型認定こども園若葉台こども園	7:00~20:00	7:00~18:30

(3) 不動産の状況

施設名	所有	賃借、その他
やまゆり中山保育園	土地 229.48 m ² 、建物 2 階建 137.6 m ² (宿舎やまゆりヴィラ)	建物 519.94 m ² 建物 139.66 m ² (分園)
小山保育園	土地 (2 筆) 1345 m ² 、建物 2 階建て 559 m ² 土地 (畑 2 筆) 602 m ² 、土地 (駐車場 2 筆) 191 m ²	
ペガサスベビー保育園	土地 1092.38 m ² 、建物 106.14 m ² 土地(休憩室)1092.38 m ² 建物(休憩 室)90.23 m ²	土地持分 10382/631962 土地持分 7503/631962
ペガサス新横浜保育園	土地 161 m ² 、建物 4 階建て 855.53 m ²	
ペガサス夜間保育園	上記の土地・建物を共同使用	
幼保連携型認定こども園岸根こども園	建物 585.08 m ²	
幼保連携型認定こども園若葉台こども園	建物 2 階建て 647.82 m ² 物置 8 m ²	

(4) 建物の増改築、修繕、備品購入等の状況

- ・小山保育園 (新館電動オーニング交換工事、職員ロッカー・シューズボックス設置工事、職員休憩室収納改修工事、給食室配膳カウンター壁面修繕工事、旧館 1 階保育室木製建具交換工事、エアコン更新工事、アコーディオンカーテン交換、特注複合本棚設置、ひなん車購入、ICT 関連物品購入)
- ・やまゆり中山保育園 (火災通報装置交換、幼児用シンク交換工事、1 階及び 2 階電気温水器修繕工事、宿舎やまゆりヴィラ修繕、ポータブル蓄電池、ICT 関連 (タブレット・QR リーダー他) 物品購入)
- ・ペガサスベビー保育園 (ICT 関連物品購入)
- ・ペガサス新横浜保育園 (3 階ベランダ落下防止ネット張り工事、調理室サッシガラス、事務室網戸修理、調理室入口引き戸修理、テラス防鳥ネット工事、ピット内排水管修理、ピット内排水ポンプ交換、ポータブル蓄電池、ICT 関連 (タブレット・QR リーダー他) 物品購入)
- ・ペガサス夜間保育園 (3 階ベランダ落下防止ネット張り工事、排煙オペレーター修理、ポータブル蓄電池、ICT 関連 (タブレット・QR リーダー他) 物品購入)
- ・岸根こども園 (大型湯沸かし器取替、電話設備リプレイス工事、カーアップテーブル昇降式 6 台、パラバルーン、遮熱テントシールド、ICT 関連 (タブレット・QR リーダー他) 物品購入)
- ・若葉台こども園 (サッシュクレセント錠・庭園土留丸太修理、エアコン更新工事、レインボーウッディ 5 連ロッカー、洗える畳半畳 2 枚セット×20 枚、給湯器交換、ひなん車購入、ICT 関連 (タブレット・QR リーダー他) 物品購入)

(3) 職員配置 (2023年4月1日現在)

施設名	施設長	副園長・ 園長代行	主任・ 主幹・ 指導・ 副主任	保育士・ 保育教諭	栄養士	調理師・ 調理員	看護師	事務・ その他	計
小山	1	0	2	17	3	3	0	2	28
やまゆり	1	1	1	31	6	3	1	9	53
ベビー	1	0	1	9	1	1	1	0	14
新横浜	1	0	1	16	3	2	1	3	27
夜間	1	1	1	7	2	1	1	0	14
岸根	1	0	2	20	5	2	2	4	36
若葉台	1	0	2	26	4	4	3	3	43
合計	7	2	10	126	24	16	9	21	215

＊職員の異動等 新規採用名 4名（うち保育士・保育教諭 2名）、異動 18名、昇格 5名

(4) 職員会議

毎月 1 回以上、できるだけ全職員が参加し、各クラスの様子・保育内容の確認・行事の打ち合わせ、外部研修参加職員による報告等を行った。リーダー会議や担当別・専門別等に会議も行い、職員間での情報共有・共通理解を行った。

(5) 防災関係

① 消防計画

各園の消防計画書に添って、防火管理者を中心とした自衛消防組織図の見直し、全職員の役割分担を確認した。

(ア) 消防設備点検

外部専門業者に委託（全園）し、消防法の規定に基づく消防用設備等の点検（機器点検、総合点検）を年 2 回以上実施した。

(イ) 避難及び消火訓練

月 1 回以上、いろいろな場所からの火災・地震等を想定し、避難・消火・通報訓練を行い、避難・消火訓練と合わせて救急対応訓練を実施した。園によっては、抜き打ち的に避難訓練等を実施した。また、不審者訓練を年 1 回以上実施した。洪水（浸水）や土砂災害の恐れのある区域の園は、洪水（浸水）や土砂災害を想定した避難訓練等も実施した。

(6) 安全管理

① 安全性の確認

各園の保育環境により、園児が一人で外に出られないよう園舎・門・柵等の点検を行うとともに、建築設備・防犯設備・遊具等の安全点検を定期的実施した。プール活動・水遊びを行う場合、監視者とプール指導を行う職員を分けて配置し、安全性の確認に努めた。園外保育等に於いても園児が活動する場所は点検を行い、

安全性の確認を行った。

② 安全対策

各園に備え付けてある事故防止マニュアル・安全管理マニュアル及びヒヤリハット事例集等、安全対策の内容を職員会議等の場で確認し、全職員へ内容の配布・チェック管理の徹底を行い、事故防止の強化をした。

横浜市シルバー人材センターを活用し、園児降園時の警備体制の強化を図った。

③ 衛生管理

衛生管理マニュアルや感染症対策マニュアルに添った衛生管理を行い、日常的には、トイレ石鹸、うがい用コップ等の衛生管理面に注意した。また、受水槽のある園では、水道水の塩素濃度などをチェックし、外部業者による定期検査を併せて実施した。

ペストコントロール協会による衛生害虫駆除・防除を行った。

保護者同意によるおむつのサブスク・虫よけ剤や保湿剤等のスキンケアの使用を導入し、園児の衛生管理の改善と保護者支援を行った。

(7) 財務状況

別紙の2023年度「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」及び「財産目録」の通り。

4 職員の状況

(1) 職員の健康診断等

全職員（含む非常勤職員）に健康診断を実施するとともに、月1回、専門業者に検便検査を行った。また、産業医と衛生委員会を行い、職員の健康管理や作業環境などの助言・指導を受け、産業医の指導による職場復帰プログラムを導入した。ストレスチェック制度の義務付けされたことに伴い、引き続きメンタル医と契約をし、職員のメンタルヘルス不調を未然に防止するよう対策に努めた。

(2) 職員研修

多様化する保育ニーズに的確に対応できる職員を育成するため、法人内では、園長会、主任会、給食委員会、看護師委員会、5歳児部会、ICT部会等を行い、最新の知見の共有や質の向上を目指した部会・委員会活動を行った。

職員の資質向上や質の高い保育を安定的に供給していくために、キャリアアップ研修の受講を優先的に実施し、その他外部主催による研修として、主任研修、保育士研修等、階層別・専門別研修に職員を参加させた。

臨床心理士、自然体験活動、ECC、ファシリテーション研修等の専門分野講師によるアウトソーシングを行った。

5 その他

(1) 保護者との連絡等

保護者説明会や懇談会、個人面談等を行う。

入園に係る重要事項説明及び保護者等からの質問に答えるため、保護者説明を個別に行い、保護者から書面による同意書を得る。

岸根こども園と若葉台こども園は利用契約書を交わした。

ホームページのブログや森の掲示版を全園に充実させ、園の様子を保護者に知らせた。

コドモンによるお知らせ配信を積極的に活用した。

(ア) 休園日

日祭日及び年末年始（2023. 12. 29～2024. 1. 3）を休園日とした。

(イ) 事業報告・計算書類の備え付け

保護者等の閲覧のため、2022 年度事業報告書及び各園の計算書類（資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表及び財産目録）を全園に備え付けた。

(2) 苦情処理受付状況

苦情対応報告を山百合会ホームページで公表する。

苦情に対する結果は改善・解決済み。

(3) 第三者評価

2023 年度は受審なし。

(4) 児童の健康管理

(ア) 健康診断

年 2 回（春・秋）、嘱託医による健康診断を実施。

認定こども園は学校保健安全法に基づき薬剤師を配置し、照度及び照明環境検査、学校環境衛生検査（空気）等を行った。

尿検査について、保育園は 3・4・5 歳児対象として行っているが、認定こども園は 0 歳児から検査を行った。

(イ) 歯科検診

年 2 回（春と秋）、嘱託歯科医による歯科検診を実施。

(5) 中長期事業計画について

2022 年度に立ち上げた「ホームページプロジェクト」「わくわく保育プロジェクト」を通して、特徴のある園づくりとは何かを策定し、求人に向けての発信や職員の働きがいとしてわくわくする保育等を園内で職員と共有を図る年度となった。

6 役員による理事会・評議員会開催報告

(1) 理事会

2023年6月7日（水）対面：オンライン（ZOOM）

定数：理事6名分・監事2名 出席者：理事5名、監事2名

議案：2022年度事業報告（案）・2023年度事業計画（案）について、2022年度決算・計算書類（案）の承認について、評議員選任・解任委員について、「やくいんのほけん」について、理事・監事の改選について、その他報告事項

2023年6月28日（水）書面による理事会（決議の省略）

定数：理事6名、監事2名 同意書（確認書）：理事6名、監事2名

議案：理事長選定について

2023年8月8日（火）書面による理事会（決議の省略）

定数：理事6名、監事2名 同意書（確認書）：理事6名、監事2名

議案：小山保育園の届出面積変更について

2023年10月20日（火）書面による理事会（決議の省略）

定数：理事6名、監事2名 同意書（確認書）：理事6名、監事2名

議案：小山保育園における「横浜市保育士環境改善事業補助金」の契約締結方法について、経理規程の改定について

2024年3月1日（金）

定数：理事6名、監事2名 出席者：理事6名、監事1名

議案：2023年度補正予算（案）と2024年度資金収支予算書（案）について、就業規則等の改定について

(2) 評議員会

2023年6月28日（水）書面による評議員会（決議の省略）

同意書（評議員7名分）

議案：2022年度事業報告（案）・2023年度事業計画（案）について、2022年度決算・計算書類（案）の承認について、「やくいんのほけん」について、理事・監事の改選について

2024年3月26日（火）

定数：評議員7名 出席者：評議員6名、理事3名、監事1名

議案：2023年度資金収支補正予算書（案）について、2024年度資金収支予算書（案）について

2 0 2 4 年

事 業 計 画 書

社会福祉法人 山百合会

1 基本的事項

(1) 経営理念

子育て家族が子どもを安全・安心して産み育てられる社会を創りたい。そのような社会創りに保育を通して貢献（支援）する。

(2) 経営方針

○ 次世代を担う子どもを育てます。

憲法・児童福祉法等に基づき、常に子どもの人権と安全を守るとともに、ひとりひとりの発達や状況に応じた適切な保育を行います。

○ 常に保育の質の向上をはかります。

保護者との保育方針の共通理解のもとで、子ども一人一人の保育計画を作成し、子どもの発達と成長を保障します。また、保育士の技術向上とモチベーションの維持に努め、保育士の質的向上をはかります。

○ 保護者や関係機関と連携し、地域社会に貢献します。

家庭・学校及び地域との交流を通じて保育ニーズの把握に努め、園庭の地域開放・育児支援や実習生・ボランティア受入などを行い、地域社会に貢献します。

(3) 施設概要

本部

〒226-0011 横浜市緑区中山一丁目 21 番 5 号

T E L 045-929-1165 F A X 045-931-8255

小山保育園

〒226-0023 横浜市緑区小山町 292

T E L 045-933-2227 F A X 045-933-2353

やまゆり中山保育園

〒226-0011 横浜市緑区中山一丁目 22 番 22 号 ITM1F

T E L 045-934-3897 F A X 045-532-6604

分園 〒226-0011 横浜市緑区中山一丁目 21 番 5 号

T E L 045-932-4133 F A X 045-932-4133

ペガサスベビー保育園

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-18 パルク新横浜 101

T E L 045-475-1376 F A X 045-475-1365

ペガサス新横浜保育園

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-24-14

T E L 045-476-0768 F A X 045-476-0764

ペガサス夜間保育園

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-24-14

T E L 045-476-0769 F A X 045-476-0764

幼保連携型認定こども園岸根こども園

〒222-0034 横浜市港北区岸根 685-12

T E L 045-491-1555 F A X 045-491-1567

幼保連携型認定こども園若葉台こども園

〒241-0801 横浜市旭区若葉台 2-20-1

T E L 045-921-3161 F A X 045-921-4329

(4) 開所時間

施設名	平日	土曜日
小山保育園	7:00~20:00	7:00~18:30
やまゆり中山保育園	7:00~21:00	7:00~18:30
ペガサスベビー保育園	7:00~20:00	7:00~20:00
ペガサス新横浜保育園	7:00~21:00	7:00~21:00
ペガサス夜間保育園	8:30~24:00	8:30~22:00
幼保連携型認定こども園岸根こども園	7:00~21:00	7:00~21:00
幼保連携型認定こども園若葉台こども園	7:00~20:00	7:00~18:30

2 施設の運営

(1) 入所・定員児童数 (2024年4月1日現在)

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	定員
小山	5	16	18	20	18	20	97	100
やまゆり	10	20	20	20	20	16	106	110
ベビー	3	10	—	—	—	—	13	20
新横浜	6	9	12	11	15	12	65	72
夜間	0	3	5	3	2	2	15	20
岸根 こども園	4	12	20	19	16	19	90	100
	—	—	—	(1男)4	(1男)4	(1男)3	(1男)11	15
若葉台 こども園	8	15	19	13	16	16	87	104
	—	—	—	(1男)1	(1男)2	(1男)1	(1男)4	15
合計	36	85	94	91	93	89	488	556

(2) 実施する特別保育事業等

施設名	延長サービス	一時保育	インクルーシブ保育	産休明け保育	地域子育て支援	夜間保育
小山	○	○	○	○	○	
やまゆり	○	○	○	○	○	
ベビー	○	○	○	○	○	
新横浜	○	○	○	○	○	
夜間	○	○	○	○	—	○
岸根	○	○	○	○	○	
若葉台	○	○	○	○	○	

(3) 職員配置 (2024年4月1日現在)

施設名	施設長	副園長 園長代行	主任保育士 主任保育員 指導保育教諭 副主任保育士	保育士・ 保育教諭	栄養士	調理師 調理員	看護師	その他	計
小山	1	0	1	18	4	2	0	2	28
やまゆり	1	0	1	31	4	3	1	10	51
ベビー	1	0	1	8	2	1	1	0	14
新横浜	1	0	1	15	3	0	1	3	24
夜間	1	1	0	6	2	1	1	0	12
岸根こども園	1	0	2	20	4	1	1	4	33
若葉台	1	0	2	25	4	4	2	5	43
合計	7	1	8	123	23	12	7	24	205

(4) 職員会議

毎月1回以上、各クラスの様子・保育内容の確認・行事の打ち合わせ、外部研修参加職員による報告等を行う。また園長会・主任会・給食委員会・看護師委員会を毎月開催し、発達部会・教材研究部会・保護者支援部会等は年数回開催する。

(5) 防災関係

(ア) 消防計画

各園の消防計画書に添って、防火管理者を中心とした自衛消防組織図の見直し、全職員の役割分担を確認する。

(イ) 消防設備点検

外部専門業者に委託（全園）し、消防設備点検（機器点検、総合点検）を年2回以上実施する。

(ウ) 避難及び消火訓練

月1回、いろいろな場所からの火災・地震等を想定し、避難・消火・通報訓練を行い、避難・消火訓練と合わせて、救急対応訓練を実施する。避難・消火訓練とは別に不審者対応訓練を年1回以上行う。また、洪水（浸水）や土砂災害の恐れのある区域の園は、洪水（浸水）や土砂災害を想定した避難訓練等を実施する。

(6) 安全管理

(ア) 安全性の確認

各園の門・柵・建物等の点検を行うとともに、園舎設備や防犯設備及び遊具等の安全点検を定期的の実施する。また、園内外を問わず園児が活動する場所は点検を行い、安全な保育環境の確保に努める。

(イ) 安全対策

事故防止マニュアル・安全管理マニュアルを定期的に見直し、ヒヤリハットや事故事例等、安全対策の内容を職員会議等の場で全職員に周知し、安全対策の徹底と個々のスキルアップを図り事故防止に努める。

プール活動・水遊びを行う場合、監視者とプール指導を行う職員を分けて配置し、監視エリアをもれなく監視をし、動かない子どもや不自然な動きをしている子どもがいないか、規則的に目線を動かし監視する。

掃除や見守りなど保育士の負担を軽減するため、横浜市シルバー人材センターを活用、園児降園時の警備体制を強化する。

(ウ) 衛生管理

衛生管理マニュアルや感染症対策マニュアルを定期的に見直し、マニュアルに添った衛生管理を行い、日常的には、トイレ石鹸やアルコール消毒液等の衛生管理に保管場所も含めて注意する。また、受水槽のある園では、水道水の塩素濃度などをチェックし、外部業者による定期検査を併せて実施する。

おむつのサブスクや虫よけ剤・保湿剤を導入し、園児の衛生管理の改善と保護者支援に努める。

(7) 財務計画

「2024年度資金収支予算書」の通り。

3 職員の状況

(1) 職員の健康診断

全職員（含む非常勤職員）に健康診断を実施するとともに、月1回、専門業者に検便検査を実施する。また、産業医と衛生委員会を立ち上げ、職員の健康管理や作業環境などの助言・指導を受ける。ストレスチェック制度の義務付けされたことに伴い、メンタル医と契約をし、職員のメンタルヘルス不調を未然に防止できるよう体制を整えている。臨床心理士によるコンサルティングを行い助言や指導を受ける。職場復帰プログラムの導入や厚労省の「保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン」（令和3年3月）を取り入れ、具体的な相談チームを作り、職場環境の改善に取り組む。

(2) 職員研修

各園内研修では、主任会、給食委員会及び看護師委員会等を月1回実施する。また、職員の資質向上や質の高い保育を安定的に供給していくために、キャリアアップ研修の受講を優先的に実施し、外部主催による施設長研修や、主任研修、保育士研修等、階層別・専門別研修に職員を参加させる。

平成30年度より適用された「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の改定を基に、各園がより良い保育に向けて社会的な要請を踏まえながら、子どもを主体として尊重するとともに、子どもの最善の利益を考慮し、保育の質の向上を目指す。目標管理制度に繋がられるよう、職員のモチベーション維持向上のための研修を実施する。コドモンの活用を充実し保育士等の業務の削減を目指し、引き続きICT化を学んでいく。

法人理念と保育活動とが連動するよう、園長会・部会・委員会・職員会議等で全職員に共通理解を図る。

中長期事業計画を進めるにあたり、「ホームページプロジェクト」「わくわく保育プロジェクト」を2022年度に立ち上げ、特徴のある園づくりとは何かを策定し、求人に向けての発信や職員の働きがいとしてわくわくする保育を職員全員で作

上げたいと大きな目標として考えている。各園の特色のある保育に触れることで山百合会全体での保育の質の向上を目指す。

4 施設整備計画

ペガサス新横浜保育園・ペガサス夜間保育園インターホン更新工事、
岸根こども園強化ガラス交換工事、若葉台こども園自動火災報知設備更新工事、
認定こども園 ICT 化支援事業

5 その他

(1) 保護者との連絡等

(ア) 保護者説明等入園に係る重要事項説明及び保護者等からの質問に答えるため、
保護者説明を行い保護者から書面による同意書を得る。

岸根こども園と若葉台こども園は利用契約書を交わす。

コドモンを通して、子どもたちの活動の様子を保育ドキュメンテーションとして
保護者配信を行い、ホームページのブログの充実や森の掲示版を活用し、園の様
子を保護者に知らせる。

コドモンの登降園管理システムを導入し、園児の登園・降園の時間や出欠連絡等
をアプリで行う。

(イ) 休園日

日祭日及び年末年始（2024. 12. 29～2025. 1. 3）を休園日とする。

(ウ) 事業報告・計算書類の備え付け

保護者等の閲覧のため、2023年度事業報告書及び各園の計算書類（資金収支
計算書・事業活動計算書・貸借対照表及び財産目録）を全園に備え付ける。

(2) 児童の健康管理

(ア) 健康診断

年2回（春・秋）、嘱託医による健康診断を実施する。

認定こども園は学校保健安全法に基づき薬剤師を配置し、照度及び照明環境検査、
学校環境衛生検査（空気）等を行う。

尿検査について、保育園は3・4・5歳児対象として行っているが、認定こども園
は0歳児から検査を行う。

(イ) 歯科検診

年2回（春と秋）、嘱託歯科医による歯科検診を実施する。

(3) 第三者評価受審について

今年度はやまゆり中山保育園・ペガサスベビー保育園・岸根こども園・
若葉台こども園の4園が受審予定。